

2017/7/14

柏の景気情報（平成29年6月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
T E L : 04-7162-3305
F A X : 04-7162-3323
U R L : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成29年6月分）

○ 調査期間：平成29年6月23日～平成29年7月4日

○ 調査対象：柏市内156事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

調査産業	調査対象数	回答数	回収率
全産業	156	71	45.5%
建設	44	18	40.9%
製造	33	18	54.5%
卸・小売	43	20	46.5%
サービス	36	15	41.7%

○ 調査方法と調査表：下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

質問事項	回答欄					
	前年同月と比較した 今月の水準			今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し		
a.売上高 (出荷高)	1 増加	2 不変	3 減少	1 増加	2 不変	3 減少
b.採算 (経常利益ベース)	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
c.仕入単価	1 下落	2 不変	3 上昇	1 下落	2 不変	3 上昇
d.従業員	1 不足	2 適正	3 過剰	1 不足	2 適正	3 過剰
e.業況	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化
f.資金繰り	1 好転	2 不変	3 悪化	1 好転	2 不変	3 悪化

質問B 業界内のトピック(記述式)

DI値 = 1 増加他の回答割合 - 3 減少他の回答割合

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

※ DI値と景気の概況

DI ≥ 50	50 > DI ≥ 25	25 > DI ≥ 0	0 > DI ≥ ▲25	▲25 > DI
特に好調	好調	まあまあ	不振	極めて不振

【平成29年6月の調査結果のポイント】

《業況DIは3ヶ月ぶりに好転。先行きは改善見込むも不透明感が残る》

○6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲16.9(前月水準▲23.9)となり、マイナス幅が7.0ポイント縮小した。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、製造業△5.8(同▲22.2)である。マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲18.7(同▲27.7)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲11.7(同▲6.6)、卸小売業▲38.0(同▲35.0)である。

【建設業】からは、「売上高・採算は維持しているものの、先行きの見通し不透明。」(電気工事業)、「変化ありません」(一般土木建築工事業)、「個人の尊厳・国民主権を忘れず、経営にも役立てて行きたい。」(内装工事業)、「少子高齢化が進む中で、建築業は時期によって違いがあるが、業界においては確実に右肩下がりの傾向は避けられない。」(一般土木建築工事業)、「この景気情報は、一地方のマクロ情報であり「そうなんだ」程度に留めるべきものだ。ミクロである個々の会社にとっては、次の一手は必須であり営々と存続が地方経済を担う事を考えると、調査票だけで終わりにたくない。」(一般土木建築工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「短納対応・変種変量の対応ができる体制が受注条件。」(金属素形材製品製造業)、「新規取引先の受注増。」(一般産業用機械・装置製造業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「以前取引があり、現在取引をしていない業者が取引条件を大幅に甘くして再開してくれと、ここ1ヶ月で2社来た事にビックリ！どこも繊維業者は最悪の状況であるため、背に腹は変えられないという所か。婦人服で良いという所は全くない。」(婦人・子供服小売業)、「天候が昨年と比べ不安定の為、衣料品及び住居関連は不振となった。食品関連は前年以上の伸びを見せたが、価格対応の商品が買い上げ点数を上げる結果で客数は減っている状況。イベントの仕掛けはあまり効果無く、特に父の日ギフトが減っている。」(その他の各種商品小売業)、「ランチをお得な価格で頂ける企画本に掲載され、そちらが好調。暑くなるにつれゼリーなどの夏用冷菓の売上が伸びはじめる。」(菓子・パン小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「個人需要：(国内)JRデスティネーションキャンペーンでの露出効果もあり、この夏は信州方面が人気。またUSJにアーリーパークインができる宿泊旅行商品の人気継続中。個人需要：(海外)ハワイ、グアムのリゾート地が人気。法人需要：秋冬の職場旅行、招待旅行、同業者視察旅行の企画依頼が多い。」(旅行業)、「目先金利の上昇が気がかりだが、元来マイナス金利自体が特殊なので、致し方ないところ。住居系賃貸供給が過熱との報道があるが、そちらのバランスも今後気がかり。」(不動産賃貸・管理業)などのコメントが寄せられた。

◎受注減少

各業種より、「競争で仕事をとるため売上の数字の内容は厳しくなっている。」(印刷業)、「今期売上高は、なかなか回復の兆しが無く、息を潜めているような景況の中で地道に一步前進を考える。」(印刷業)、「売上高は前年同月比減少してしまった。」(酒場・ビヤホール)との声が寄せられた。

◎人手不足

各業種より、「人手不足は相変わらずで、今後も続くであろう。時給アップが業績に影響する。」(各種食料品小売業)、「年末に向けてアルバイト募集に外国人の応募が多く困っている。和食の飲食店で片言の日本語では…」(酒場・ビヤホール)との声が寄せられた。

◎仕入単価上昇

各業種より、「品質の保持を考えると仕入単価が上昇するのは脅威だ。」(電気工事業)、「また紙の値段が上がると通知され、さらに厳しい夏になりそうだ。」(印刷業)、「中国の設備投資・半導体製造設備・自動車製造設備の増加により、サーボモーター等の電気部品が軒並み品薄で入手できない状況が続いている。」(その他の機械・同部品製造業)、「6月よりアルコール類(ビール等)の値上げの申し出が酒屋さんよりあり、値上げ時期について交渉している。」(酒場・ビヤホール)との声が寄せられた。

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
1月	▲24.3	▲23.8	▲11.1	▲44.0	▲7.1
2月	▲22.2	▲20.0	△5.8	▲45.4	▲23.0
3月	▲13.3	▲10.0	△5.8	▲50.0	△12.5
4月	▲20.5	▲17.6	▲11.1	▲41.6	±0.0
5月	▲23.9	▲27.7	▲22.2	▲35.0	▲6.6
6月	▲16.9	▲18.7	△5.8	▲38.0	▲11.7
見通し	▲9.8	△6.2	△5.8	▲33.3	▲11.7

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成28年6月の業況についての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲16.9(前月水準▲23.9)となり、マイナス幅が7.0ポイント縮小した。

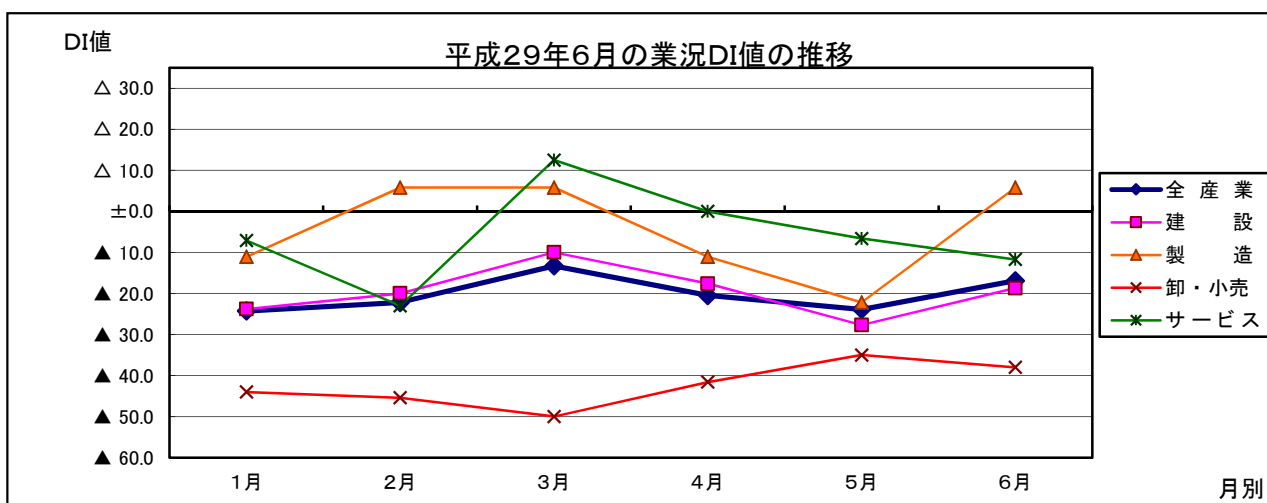
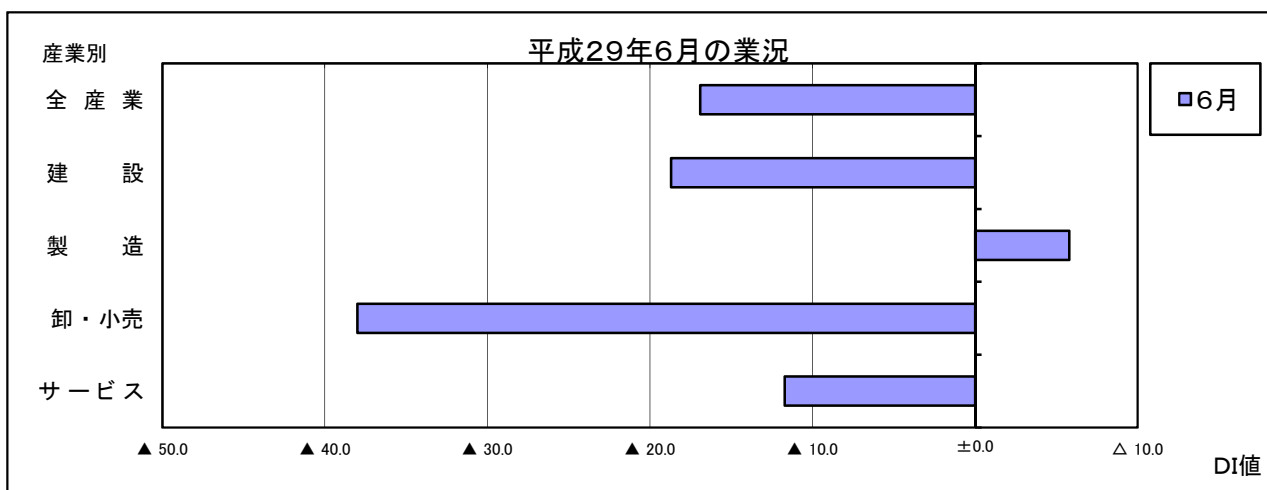
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、製造業△5.8(同▲22.2)である。マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲18.7(同▲27.7)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、サービス業▲11.7(同▲6.6)、卸小売業▲38.0(同▲35.0)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲9.8(前月水準▲11.2)となり、マイナス幅が1.4ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△5.8(同△5.5)である。マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、建設業△6.2(同▲5.5)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲33.3(同▲35.0)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業▲11.7(同▲6.6)である。

平成29年6月業況DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月～9月(6月～8月)
全産業	▲24.3	▲22.2	▲13.3	▲20.5	▲23.9	▲16.9	▲9.8(▲11.2)
建設	▲23.8	▲20.0	▲10.0	▲17.6	▲27.7	▲18.7	△6.2(▲5.5)
製造	▲11.1	△5.8	△5.8	▲11.1	▲22.2	△5.8	△5.8(△5.5)
卸・小売	▲44.0	▲45.4	▲50.0	▲41.6	▲35.0	▲38.0	▲33.3(▲35.0)
サービス	▲7.1	▲23.0	△12.5	±0.0	▲6.6	▲11.7	▲11.7(▲6.6)



【平成29年6月の売上についての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲22.5(同▲8.4)となり、マイナス幅が14.1ポイント拡大した。

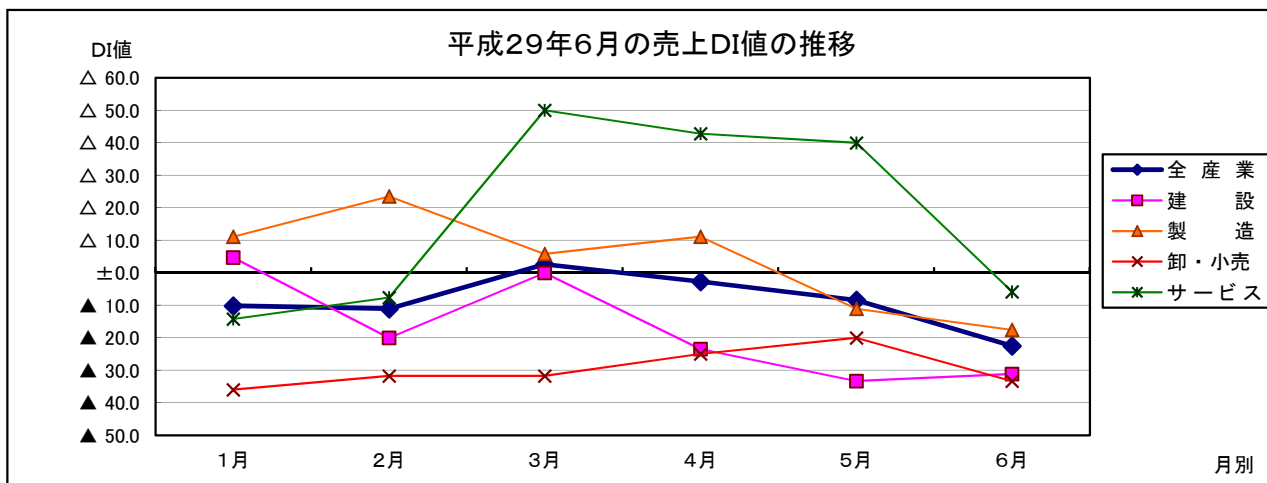
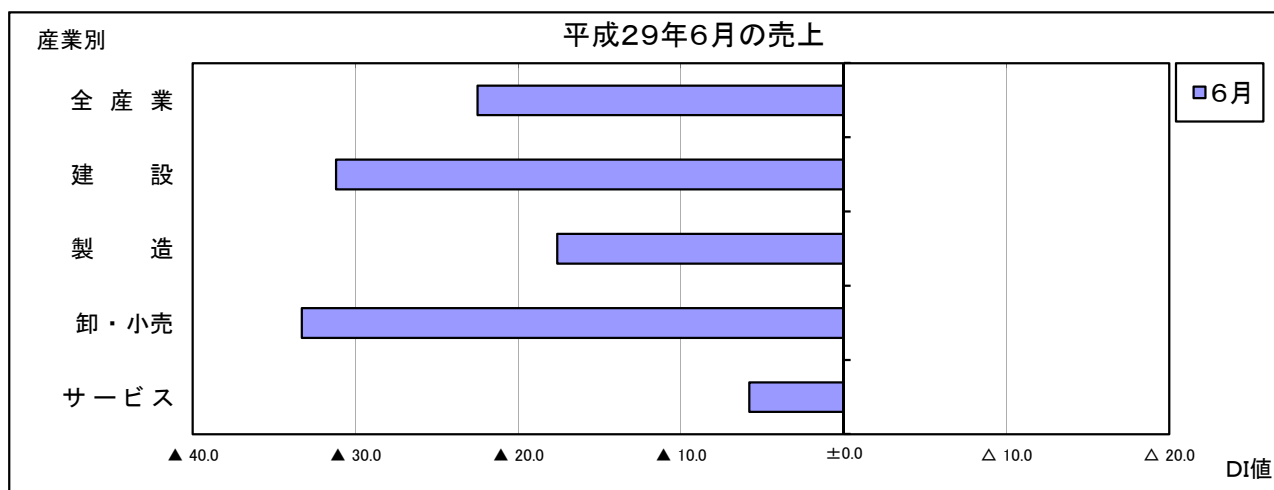
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、建設業▲31.2(同▲33.3)である。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲5.8(同△40.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲33.3(同▲20.0)、製造業▲17.6(同▲11.1)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲4.2(前月水準▲4.2)となり、マイナス幅は変わらない見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業△25.0(同±0.0)、製造業△5.8(同±0.0)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲28.5(同▲40.0)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、サービス業▲11.7(同△33.3)である。

平成29年6月の売上DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月～9月(6月～8月)
全産業	▲10.2	▲11.1	△2.6	▲2.7	▲8.4	▲22.5	▲4.2(▲4.2)
建設	△4.7	▲20.0	±0.0	▲23.5	▲33.3	▲31.2	△25.0(±0.0)
製造	△11.1	△23.5	△5.8	△11.1	▲11.1	▲17.6	△5.8(±0.0)
卸・小売	▲36.0	▲31.8	▲31.8	▲25.0	▲20.0	▲33.3	▲28.5(▲40.0)
サービス	▲14.2	▲7.6	△50.0	△42.8	△40.0	▲5.8	▲11.7(△33.3)



【平成29年6月の採算についての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲18.3(前月水準▲18.0)となり、マイナス幅が変わらなかった。

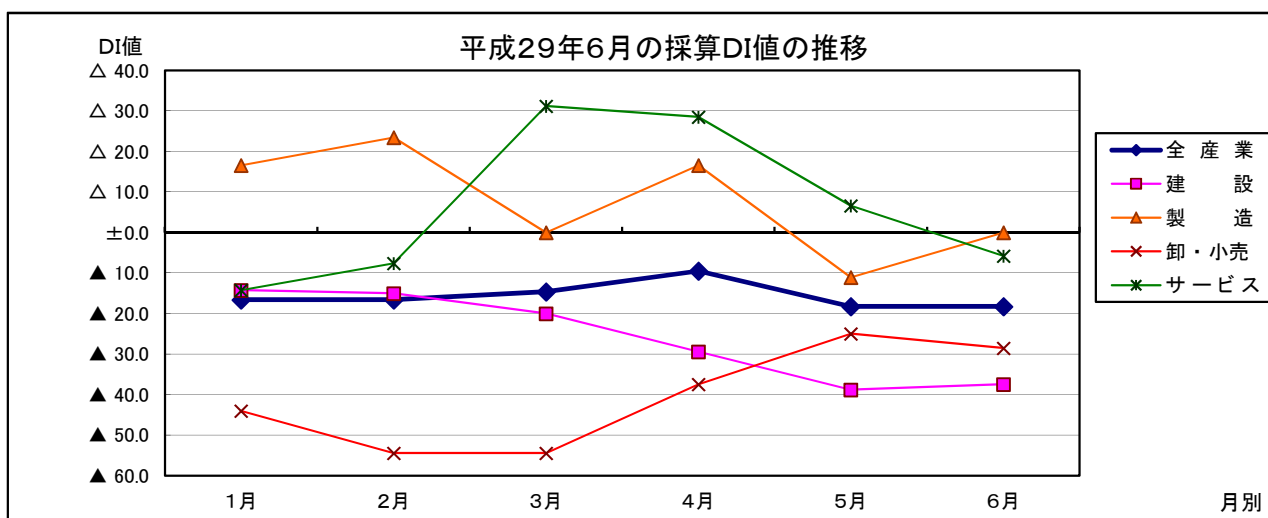
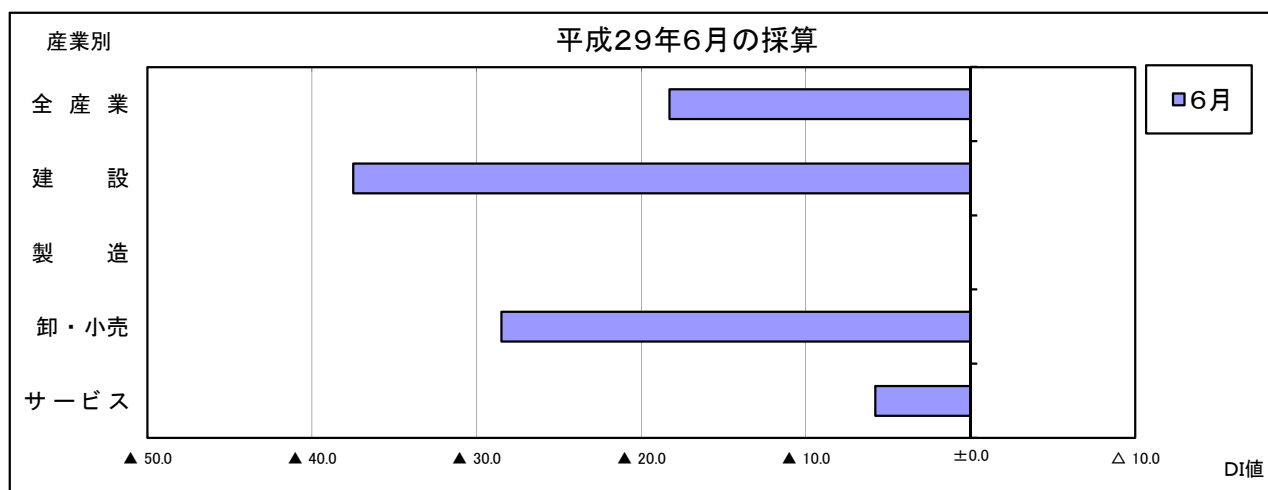
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業±0.0(同▲11.1)、建設業▲37.5(同▲38.8)である。プラスからマイナスに転じた業種は、サービス業▲5.8(同△6.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲28.5(同▲25.0)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲8.4(前月水準▲14.0)であり、マイナス幅が5.6ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業△11.7(同▲11.1)、建設業△6.2(同▲11.1)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業▲38.0(同▲40.0)である。プラスからマイナスに転じる見通しの業種は、サービス業▲5.8(同△13.3)である。

平成29年6月の採算DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月～9月(6月～8月)
全産業	▲16.6	▲16.6	▲14.6	▲9.5	▲18.3	▲18.3	▲8.4(▲14.0)
建設	▲14.2	▲15.0	▲20.0	▲29.4	▲38.8	▲37.5	△6.2(▲11.1)
製造	△16.6	△23.5	±0.0	△16.6	▲11.1	±0.0	△11.7(▲11.1)
卸・小売	▲44.0	▲54.5	▲54.5	▲37.5	▲25.0	▲28.5	▲38.0(▲40.0)
サービス	▲14.2	▲7.6	△31.2	△28.5	△6.6	▲5.8	▲5.8(△13.3)



【平成29年6月の仕入単価についての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲26.7(前月水準▲23.9)となり、マイナス幅が2.8ポイント縮小した。

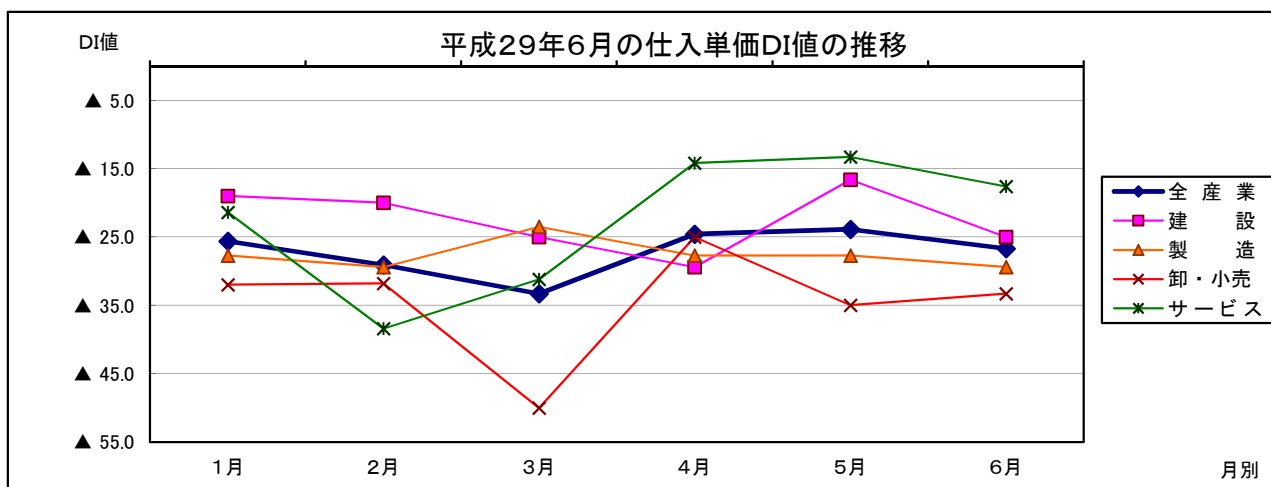
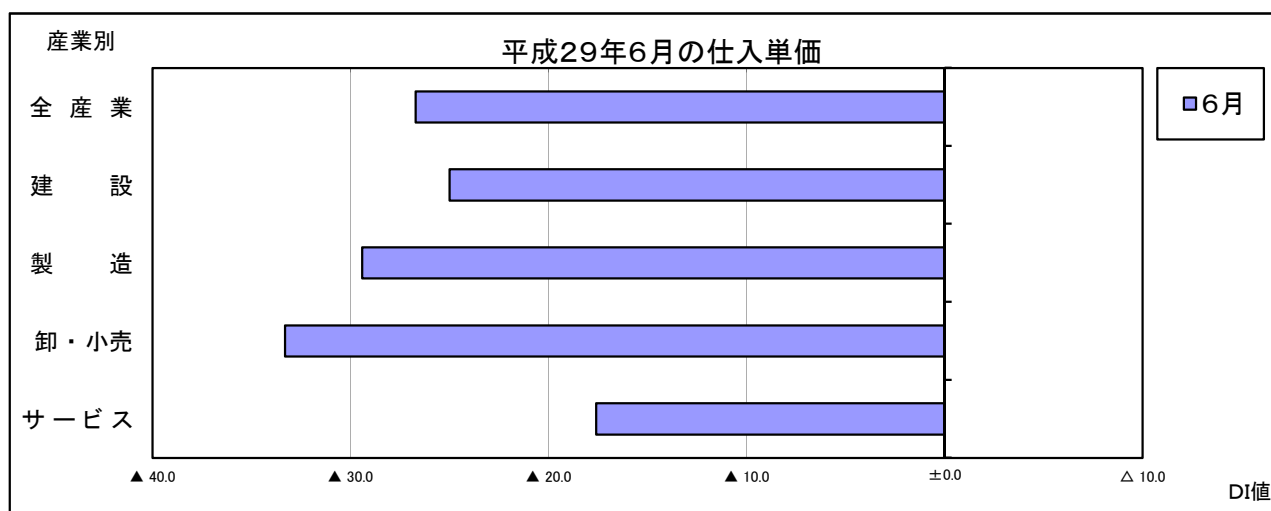
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲33.3(同▲35.0)である。マイナス幅が拡大した業種は、幅の大きい順に、建設業▲25.0(同▲16.6)、サービス業▲17.6(同▲13.3)、製造業▲29.4(同▲27.7)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲21.1(前月水準▲18.3)となり、マイナス幅が2.8ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、製造業▲11.7(同▲27.7)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲18.7(同▲5.5)、卸小売業▲33.3(同▲25.0)、サービス業▲17.6(同▲13.3)である。

平成29年6月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月～9月(6月～8月)
全産業	▲25.6	▲29.1	▲33.3	▲24.6	▲23.9	▲26.7	▲21.1(▲18.3)
建設	▲19.0	▲20.0	▲25.0	▲29.4	▲16.6	▲25.0	▲18.7(▲5.5)
製造	▲27.7	▲29.4	▲23.5	▲27.7	▲27.7	▲29.4	▲11.7(▲27.7)
卸・小売	▲32.0	▲31.8	▲50.0	▲25.0	▲35.0	▲33.3	▲33.3(▲25.0)
サービス	▲21.4	▲38.4	▲31.2	▲14.2	▲13.3	▲17.6	▲17.6(▲13.3)



【平成29年6月の従業員についての状況】

○ 5月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△12.6(前月水準△15.4)となり、プラス幅が2.8ポイント縮小した。

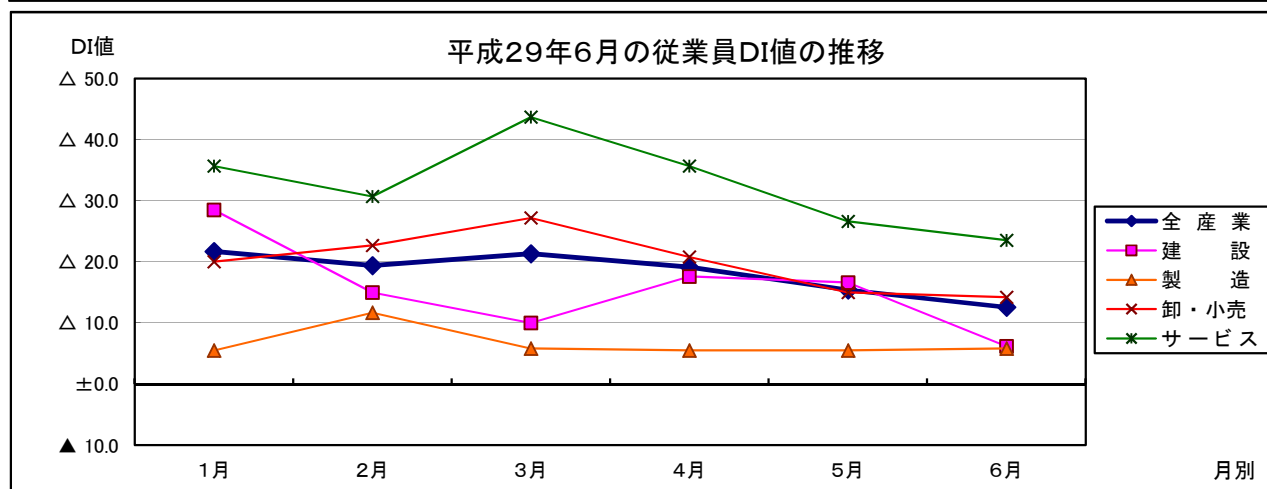
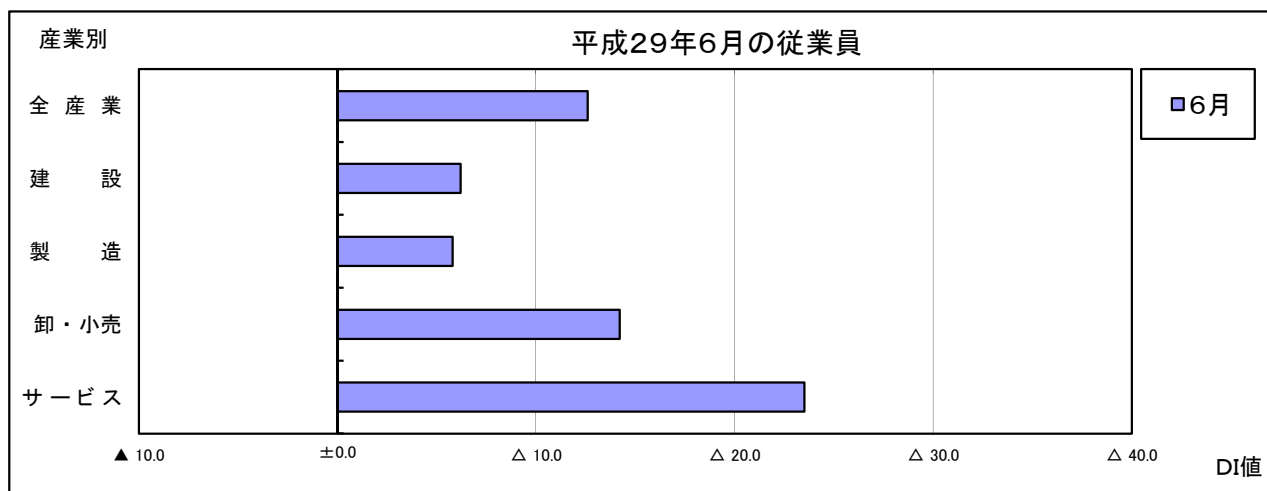
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、製造業△5.8(同△5.5)である。プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業△6.2(同△16.6)、サービス業△23.5(同△26.6)、卸小売業△14.2(同△15.0)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、△18.3(前月水準△19.7)であり、プラス幅が1.4ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業△23.5(同△20.0)、建設業△12.5(同△11.1)、製造業△23.5(同△22.2)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、卸小売業△14.2(同△25.0)である。

平成29年6月の従業員DI値(前年同月比)の推移

	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月～9月(6月～8月)
全産業	△21.7	△19.4	△21.3	△19.1	△15.4	△12.6	△18.3(△19.7)
建設	△28.5	△15.0	△10.0	△17.6	△16.6	△6.2	△12.5(△11.1)
製造	△5.5	△11.7	△5.8	△5.5	△5.5	△5.8	△23.5(△22.2)
卸・小売	△20.0	△22.7	△27.2	△20.8	△15.0	△14.2	△14.2(△25.0)
サービス	△35.7	△30.7	△43.7	△35.7	△26.6	△23.5	△23.5(△20.0)



【平成29年6月の資金繰りについての状況】

○ 6月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲5. 6(前月水準▲7. 0)となり、マイナス幅が1. 4ポイント拡大した。

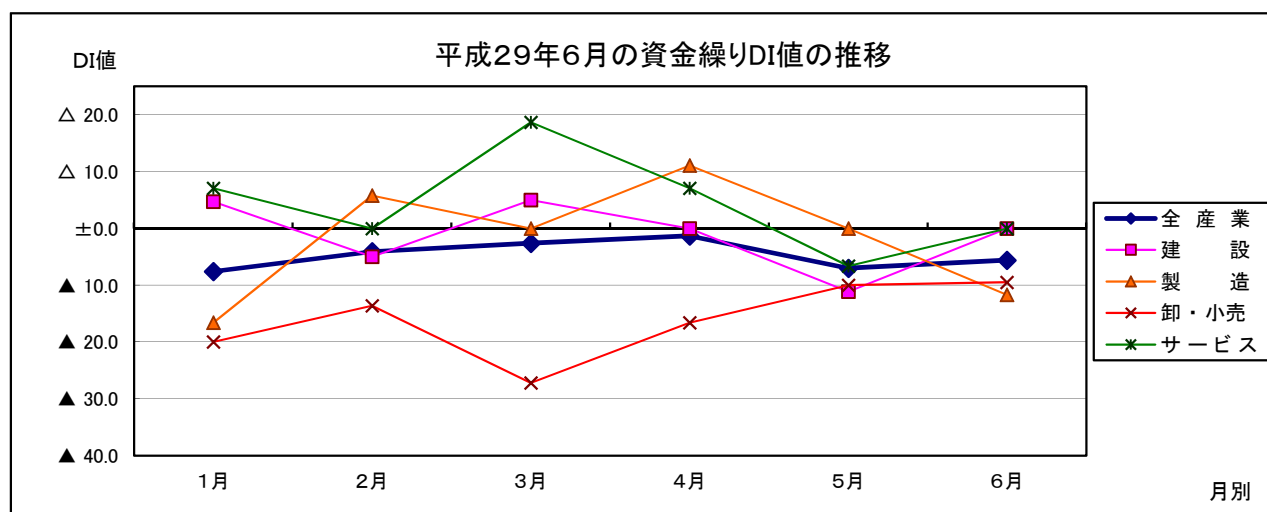
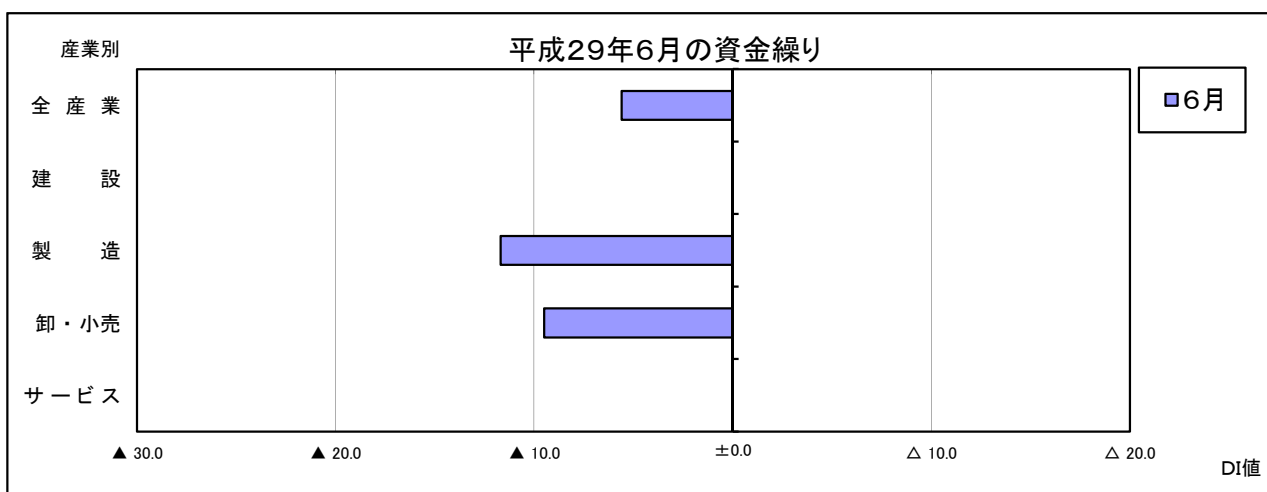
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、製造業±0. 0(同▲11. 1)、サービス業±0. 0(同▲6. 6)、卸小売業▲9. 5(同▲10. 0)である。マイナス幅が拡大した業種は、製造業▲11. 7(同±0. 0)である。

○ 向こう3ヶ月(7月から9月)の先行き見通しについては、全産業では、▲5. 6(前月水準▲2. 8)となり、マイナス幅が2. 8ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大した業種は、建設業△12. 5(同±0. 0)である。変らない業種は、サービス業±0. 0(同±0. 0)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲5. 8(同△11. 1)である。マイナス幅が拡大した業種は、卸小売業▲23. 8(同▲20. 0)である。

平成29年6月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

	平成29年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	先行き見通し 7月～9月(6月～8月)
全 産 業	▲ 7.6	▲ 4.1	▲ 2.6	▲ 1.3	▲ 7.0	▲ 5.6	▲ 5.6 (▲ 2.8)
建 設	△ 4.7	▲ 5.0	△ 5.0	±0.0	▲ 11.1	±0.0	△ 12.5 (±0.0)
製 造	▲ 16.6	△ 5.8	±0.0	△ 11.1	±0.0	▲ 11.7	▲ 5.8 (△ 11.1)
卸・小売	▲ 20.0	▲ 13.6	▲ 27.2	▲ 16.6	▲ 10.0	▲ 9.5	▲ 23.8 (▲ 20.0)
サ ー ビ ス	△ 7.1	±0.0	△ 18.7	△ 7.1	▲ 6.6	±0.0	±0.0 (±0.0)



【DI値集計表】

	売上高(受注・出荷)		採算		仕入単価		従業員	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 22.5	▲ 4.2	▲ 18.3	▲ 8.4	▲ 26.7	▲ 21.1	△ 12.6	△ 18.3
建設	▲ 31.2	△ 25.0	▲ 37.5	△ 6.2	▲ 25.0	▲ 18.7	△ 6.2	△ 12.5
製造	▲ 17.6	△ 5.8	±0.0	△ 11.7	▲ 29.4	▲ 11.7	△ 5.8	△ 23.5
卸・小売	▲ 33.3	▲ 28.5	▲ 28.5	▲ 38.0	▲ 33.3	▲ 33.3	△ 14.2	△ 14.2
サービス	▲ 5.8	▲ 11.7	▲ 5.8	▲ 5.8	▲ 17.6	▲ 17.6	△ 23.5	△ 23.5

	業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種	▲ 16.9	▲ 9.8	▲ 5.6	▲ 5.6
建設	▲ 18.7	△ 6.2	±0.0	△ 12.5
製造	△ 5.8	△ 5.8	▲ 11.7	▲ 5.8
卸・小売	▲ 38.0	▲ 33.3	▲ 9.5	▲ 23.8
サービス	▲ 11.7	▲ 11.7	±0.0	±0.0

【平成29年6月業種別業界内トピックス】

業種別	概 況	トピックス	業種
建設	売上高、採算は維持しているものの、先行きの見通し不透明。品質の保持を考えると仕入単価が上昇するのは脅威だ。	先行き不透明 仕入上昇	電気工事業
	特に変化ありません	景況不変	一般土木建築工事業
	「個人の尊厳」「国民主権」を忘れず、経営にも役立てて行きたい。「あったことをなかったことにはしない」経営者でありたいです。	経営方針	内装工事業
	少子高齢化が進む中で、建築業はその年その月によって違いがありますが、業界においては確実に右肩下がりの傾向は避けられません。そんな時、この景気情報は一地方のマクロの情報で、「そうなんだ～」程度に留めるべきもので、ミクロである個々の会社にとっては次の一手は必須であり営々と存続が地方経済を担う事を考えると、調査票だけで終わりにたくないものです。	少子高齢化 業界不振 次策必須 営々と存続 地域発展	一般土木建築工事業
製造業	また紙の値段が上がると通知され、我々は競争で仕事をとるため売上の数字の内容は厳しくなっている。さらに厳しい夏になりそうだ。	仕入上昇 競争激化 売上減少	印刷業
	①短納対応②変種変量→対応できる体制が受注条件。	短納期 変種変量 受注条件	金属素材材製品製造業
	中国の設備投資、半導体製造設備、自動車製造設備の増加により、サーボモーター等の電気部品が軒並み品薄で入手できない状況が続いている。	海外の設備投資増加 仕入困難	その他の機械・同部品製造業
	今期売上高なかなか回復の兆しが無い。息を潜めているような景況の中、地道に一步前進を考える。	売上不調 景気停滞	印刷業
	新規取引先の受注増	受注増加	一般産業用機械・装置製造業
卸小売	以前取引があり、現在取引をしていない業者が取引条件を大幅に甘くして再開してくれと、この1ヶ月で2社来た事にビックリ！どこも繊維業者は最悪の状況であるため、背に腹は変えられないという所か。何にしる婦人服で良いという所は全くない。	取引再開 業界不振 衣料品不振	婦人・子供服小売業
	天候気温が昨年比比べ不安定の為、衣料品及び住居関連は不振となった。食品関連は前年以上の伸びを見せたが、価格対応の商品が買い上げ点数を上げる結果で客数は減っている状況。イベントの仕掛けはあまり効果無く、特に父の日ギフトが減っている。	天候不順 衣料品不振 住居不振 食品好調 客数減少 イベント効果	その他の各種商品小売業
	人手不足は相変わらずで、今後も続くであろう。時給アップが業績に影響する。	人手不足 昇給影響	各種食料品小売業
	ランチをお得な価格で頂ける企画本に掲載され、そちらが好調。暑くなるにつれゼリーなどの夏の冷菓が伸びはじめる(売上が)	ランチ好調 夏物商品	菓子・パン小売業
サービス業	6月は前年同月対比減少してしまった。今は従業員どうにかなっていますが、年末に向けてアルバイト募集に外国人の応募が多く困っております。「和食の飲食店で片言の日本語では・・・」。6月よりアルコール類(ビール等)の値上げについて酒屋さんより申し出があり値上げ時期について交渉しています。	前年比減 人手不足 仕入上昇	酒場・ビヤホール
	個人需要：(国内)JRデスティネーションキャンペーンでの露出効果もあり、この夏は信州方面が人気。またUSJにアーリーパークインができる宿泊旅行商品の人気継続中。(海外)ハワイ、グアムのリゾート地が人気。法人需要：秋冬の職場旅行、招待旅行、同業者視察旅行の企画依頼が多い。	旅行好調	旅行業
	柏まつりの東口ダブルデッキ下の出店復活を望む声は多いので考える時期だと思う。		不動産賃貸業
	目先金利の上昇が気がかりだが、元来マイナス金利自体が特殊なので、致し方ないところ。住居系賃貸供給が過熱との報道があるが、そちらのバランスも今後気がかり。	金利上昇 賃貸物件好調 先行き不透明	不動産賃貸・管理業

平成29年6月CCI-LOBOとの比較

- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲16.9に対し、「CCI-LOBO」が▲14.5で柏の方がマイナス幅が2.4ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業であり、10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・卸小売業・サービス業である。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲22.5に対し、「CCI-LOBO」が▲9.4で柏の方がマイナス幅が13.1ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方がすべての業種で悪く、建設業・製造業では10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲18.3に対し、「CCI-LOBO」が▲12.8で柏の方がマイナス幅が6.0ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業・サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業・卸小売業であり、建設業では10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲26.7に対し、「CCI-LOBO」が▲31.3で柏の方がマイナス幅が4.6ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・製造業・サービス業であり、サービス業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業である。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△12.6に対し、「CCI-LOBO」が△20.4で柏の方がプラス幅が7.8ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が全ての業種で悪く、建設業では10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲5.6に対し、「CCI-LOBO」が▲6.3で柏の方がマイナス幅が0.7ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業・卸小売業・サービス業であり、卸小売業では10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、製造業である。

平成29年6月の柏の景気天気図

柏の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較

景気天気図					
	特に好調 DI $\geq$ 50	好調 50>DI $\geq$ 25	まあまあ 25>DI $\geq$ 0	不振 0>DI $\geq$ ▲25	極めて不振 ▲25>DI

業況DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 16.9	 ▲ 18.7	 5.8	 ▲ 38.0	 ▲ 11.7
CCI—LOBO	 ▲ 14.5	 ▲ 14.3	 ▲ 8.6	 ▲ 32.1	 ▲ 8.8

売上DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 22.5	 ▲ 31.2	 ▲ 17.6	 ▲ 33.3	 ▲ 5.8
CCI—LOBO	 ▲ 9.4	 ▲ 15.1	 ▲ 6.4	 ▲ 28.0	 ▲ 1.9

採算DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 18.3	 ▲ 37.5	 ±0.0	 ▲ 28.5	 ▲ 5.8
CCI—LOBO	 ▲ 12.3	 ▲ 14.0	 ▲ 7.2	 ▲ 27.9	 ▲ 9.4

仕入単価DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 26.7	 ▲ 25.0	 ▲ 29.4	 ▲ 33.3	 ▲ 17.6
CCI—LOBO	 ▲ 31.3	 ▲ 34.2	 ▲ 34.1	 ▲ 27.9	 ▲ 30.6

従業員DI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 12.6	 6.2	 5.8	 14.2	 23.5
CCI—LOBO	 20.4	 23.8	 14.1	 21.8	 26.7

資金繰りDI	全産業	建設	製造	卸小売	サービス
柏の景気	 ▲ 5.6	 ±0.0	 ▲ 11.7	 ▲ 9.5	 ±0.0
CCI—LOBO	 ▲ 6.3	 ▲ 3.3	 ▲ 3.1	 ▲ 20.3	 ▲ 4.3

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上良い項目

 は「柏の景気」の方が、10ポイント以上悪い項目

柏の景気情報

(6月の調査結果のポイント)

調査期間：平成29年6月23日～7月4日

調査対象：柏市内156事業所及び組合に
ヒアリング、回答数71件

柏の景気情報・産業別業況D.I

	全産業	建設	製造	卸・小売	サービス
1月	▲24.3	▲23.8	▲11.1	▲44.0	▲7.1
2月	▲22.2	▲20.0	△5.8	▲45.4	▲23.0
3月	▲13.3	▲10.0	△5.8	▲50.0	△12.5
4月	▲20.5	▲17.6	▲11.1	▲41.6	±0.0
5月	▲23.9	▲27.7	▲22.2	▲35.0	▲6.6
6月	▲16.9	▲18.7	△5.8	▲38.0	▲11.7
見通し	▲9.8	△6.2	△5.8	▲33.3	▲11.7

「見通し」は今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しD.I

柏市の業況

業況D.Iは3ヶ月ぶりに
好転。先行きは改善見込みも
不透明感が残る。

6月の全産業合計のD.I
値(前年同月比ベース、以下
同じ)は、▲16.9(前月
水準▲23.9)となり、
マイナス幅が7.0ポイン
ト縮小した。業種別では、
前月水準と比べて、マイナ
スからプラスに転じた業種
は、製造業▲5.8(同▲2
2.2)である。マイナス幅
が縮小した業種は、建設業
▲18.7(同▲27.7)で
ある。マイナス幅が拡大
した業種は、幅の大きい順

に、サービス業▲11.7
(同▲6.6)、卸小売業▲
38.0(同▲35.0)で
ある。

【建設業】からは、「売上
高採算は維持しているもの
の、先行きの見通し不透明。」
(電気工事業)、「変化あり
ません」(一般土木建築工事
業)、「個人の尊厳・国民主権
を忘れず、経営にも役立てて
行きたい。」(内装工事業)、「
少子高齢化が進む中で、建
築業は時期によって違いが
あるが、業界においては確実
に右肩下がり傾向は避け
られない。」(一般土木建築工
事業)、「この景気情報は、一
地方のマクロ情報であり「そ
うなんだ」程度に留めるべき
ものだ。ミクロである個々の
会社にとっては、次の一手は
必須であり営々と存続が地
方経済を担う事を考えると、
調査票だけで終わりたい。な
い。」(一般土木建築工事業)
などのコメントが寄せられ
た。

【製造業】からは、「短納
対応・変種変量の対応ができ
る体制が受注条件。」(金属
素形材製品製造業)、「新規
取引先の受注増。」(一般産
業用機械・装置製造業など
のコメントが寄せられた。
前取引があり、現在取引をし
ていない業者が取引条件を大
幅に甘くして再開してくれ
と、ここ1ヶ月で2社来た事
にビックリ！どこも繊維業者
は最悪の状況であるため、背
に腹は変えられないという所
か。婦人服で良いという所は
全くない。」(婦人・子供服小
売業)、「天候が昨年と比べ不
安定の為、衣料品及び住居関
連は不振となった。食品関連
は前年以上の伸びを見せた
が、価格対応の商品が買い上
げ点数を上げる結果で客数は
減っている状況。イベントの
仕掛けはあまり効果無く、特
に父の日ギフトが減ってい
る。」(その他の各種商品小売
業)、「ランチをお得な価格で
頂ける企画本に掲載され、そ
ちらが好調。暑くなるにつれ
ゼリーなどの夏用冷凍の売上
が伸びはじめる。」(菓子・パ
ン小売業)などのコメントが
寄せられた。

【サービス業】からは、「個
人需要：(国内)JRデステイ
ネーションキャンペーンでの
露出効果もあり、この夏は信
州方面が人気。またUSJに
アーリーパークインができる
宿泊旅行商品の人気継続中。
個人需要：(海外)ハワイ、グ
アムのリゾート地が人気。法
人需要：秋冬の職場旅行、招
待旅行、同業者視察旅行の企
画依頼が多い。」(旅行業)、「
目先金利の上昇が気がかり
だが、元来マイナス金利自体
が特殊なので、致し方ない
ところ。住居系賃貸供給が過熱
との報道があるが、そちらの
バランスも今後気がかり。」
(不動産賃貸・管理業)など
のコメントが寄せられた。

6月の景気キーワード

◎受注減少

各業種より、「競争で仕事
をとるため売上の数字の内
容は厳しくなっている。」
(印刷業)、「今期売上高は、
なかなか回復の兆しが無く、
息を潜めているような景況
の中で地道に一歩前進を考
える。」(印刷業)、「売上高
は前年同月比減少してしま
った。」(酒場・ビヤホール)
との声が寄せられた。

◎人手不足

各業種より、「人手不足は
相変わらずで、今後も続くで
あろう。時給アップが業績に
影響する。」(各種食料品小
売業)、「年末に向けてアル
バイト募集に外国人の応募
が多く困っている。和食の飲
食店で片言の日本語で
は……」(酒場・ビヤホール)
との声が寄せられた。

◎仕入単価上昇

各業種より、「品質の保持
を考えると仕入単価が上昇
するのは脅威だ。」(電気工

事業)、「また紙の値段が上が
ると通知され、さらに厳しい夏
になりそうだ。」(印刷業)、「
中国の設備投資・半導体製造
設備・自動車製造設備の増加に
より、サーボモーター等の電気
部品が軒並み品薄で入手でき
ない状況が続いている。」(そ
の他の機械・同部品製造業)、「
6月よりアルコル類(ビール
等)の値上げの申し出が酒屋
さんよりあり、値上げ時期につ
いて交渉している。」(酒場・
ビヤホール)との声が寄せられ
た。

CI・LOBOとの比較

全産業合計では、「柏の景
気」が▲16.9に対し、「C
I・LOBO」が▲14.5
で柏の方がマイナス幅は2.4
ポイント大きい。業種別では、
「柏の景気」の方が良い業種
は、製造業であり、10ポイン
ト以上良い。「柏の景気」の方
が悪い業種は、建設業・卸小売
業・サービス業である。

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測 (6月速報)

調査期間：平成 29 年 6 月 15 日～21 日

調査対象：全国の 423 商工会議所が 3468 企業にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、4カ月連続改善。先行きは慎重な見方が残り、横ばいを見込む。

6月の全産業合計の業況DIは、▲14.5と、前月から+1.7ポイントの改善。電子部品、自動車関連の生産・輸出や、建設・設備投資の堅調な動きが続いているほか、それらの関連商品を中心に卸売業の業況感が改善した。また、インバウンドを含め好調な観光需要を取り込んだ小売業に持ち直しの動きがみられた。他方、消費者の節約志向や人手不足の影響拡大、原材料費・運送費の上昇を指摘する声が多く聞かれるなど、中小企業のマインドには依然として鈍さがみられる。

先行きについては、先行き見通しDIが▲14.7（今月比▲0.2ポイント）とほぼ横ばいを見込む。輸出や設備投資の拡大に加え、インバウンドを含む観光需要や中元商戦、夏のセールなど、消費の回復に期待する声が聞かれる。他方、人手不足の影響拡大、消費者の節約志向、原材料費・運送費の上昇、地政学的リスクなどへの懸念から、中小企業においては業績改善に確信を持ってない

企業が多く、業況感は横ばい圏内との見方が続く。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

産業別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、サービス業で悪化、その他の4業種で改善した。各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「公共工事、民間工事ともに発注は多く、売上は増加している。ただし、人件費と建材価格の上昇により、利益は前年並みにとどまっている」（一般工事業）、「工事発注は増加しているが、技術者不足であるため、案件を選別せざるを得ない。人材確保を目的に賃上げを行い、人手不足の解消に努める」（電気工事業）

【製造業】「設備投資関連の需要が底堅く推移しているため、売上は前年同月の水準を確保できている。ただし、鉄鋼やステンレスなどの原材料価格が一定程度上昇しており、採算は悪化した」（一般機械器具製造業）、「半導体製造装置や医療機器向けの受注は堅調に推移してい

るが、数量の多い鍋などの日用品関連は不調で、全体の売上は悪化した」（金属部品等製造業）

【卸売業】「納入先の自動車関連工場の稼働率が高く、売上は改善した。鉄鋼などの原材料費や運送費の上昇に伴い、仕入先からは続々と価格転嫁交渉を迫られている」（一般機械器具卸売業）、「引き続き消費者の節約志向は根強く、卸先の食品小売業の売上が低迷しており、当社の売上も悪化した。街に活気が感じられないため、今後の見通しも厳しい」（食品卸売業）

【小売業】「インバウンドを始め、高額化粧品品の販売が好調。夏用の新商品には、早くも問い合わせや予約が相次いでいるため、今後は積極的に販促活動に努めていく」（化粧品小売業）、「消費者の低価格志向が続いており、売上は悪化した。特に高齢者の買い控えが顕著になってきたと感じる」（食品小売業）、「お中元の販売を開始し、贈答用のほか、最近話題の自分用の商品を積極的にPRしており、店舗全体の売上、採算は改善した。来月以降には夏のセールを開催するため、今後とも来店客数の増加、売上の改

善が見込める」（百貨店）

【サービス業】「自動車部品や産業機械、二輪車の輸出入量が増加したことに加え、エネルギー関連や穀物の輸入量も増加したため、売上は改善した」（倉庫・海運業）、「梅雨の影響からか、集客に苦戦し、売上が伸び悩む中、改正酒税法により仕入価格が高騰したため、採算は悪化した」（居酒屋）上は良いが、戦争やテロなどの地政学的リスクに伴う為替変動が不安材料」（自動車部品製造業）、「原材料価格の上昇に伴い、収益が圧迫されつつある。採算の維持・改善のため、価格転嫁交渉を進めている」（鉄鋼業）

全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準に比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

	全産業	建設	製造	卸売	小売	サービス
1月	▲23.0	▲16.7	▲13.9	▲25.4	▲42.0	▲18.5
2月	▲24.0	▲14.6	▲17.1	▲32.5	▲40.4	▲18.6
3月	▲20.1	▲9.6	▲12.8	▲24.2	▲40.5	▲14.7
4月	▲17.3	▲10.6	▲11.3	▲18.9	▲33.0	▲12.5
5月	▲16.2	▲15.8	▲12.2	▲12.0	▲36.5	▲5.4
6月	▲14.5	▲14.3	▲8.6	▲8.6	▲32.1	▲8.8
見通し	▲14.7	▲8.1	▲9.9	▲14.1	▲28.0	▲13.1